

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network 12 / 1

2021 No.552

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519

JART情報
<http://www.jart.jp>



2021年 JART 10大ニュース!!



1 会員の皆さまへ重要なお知らせ 医師の働き方改革に伴う診療放射線 技師の業務拡大と告示研修

2021年2月に総括研究報告書が取りまとめられ、診療放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士の研修内容などを策定するに当たって、タスク・シフト/シェアを行う業務内容に関連する医師と看護師の意見について、3職種の教育・研修内容、告示科目、審査基準などの策定・修正を検討し、追加業務に関する有資格者研修のカリキュラムの開発と、学校養成所カリキュラムの見直しに関して提言をまとめています。

告示研修カリキュラムの項目と時間数は、診療放射線技師有資格者に対する研修時間としては、基礎研修700分、実技研修385分の計1,085分となります。

2 第7回 医師の働き方改革を進める ためのタスク・シフト/シェアの推 進に関する検討会 開催される

2020年12月11日(金)、第7回医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会が開催されました。検討会ではこれまでの議論の整理が行われ、医師と看護師のみが行っていた静脈路確保とそれに関連する業務については、診療放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士も行うことが可能になることや、救急救命士が病院前で行ってきた救急救命処置を病院外来でも実施することなど、法令改正を含めたタスク・シフト/シェアの方向性が取りまとめられました。

3 第37回 日本診療放射線技師学術 大会 開催される

37th JCRT / 23rd AACRT / 28th EACRTについて

2021年11月12日(金)から14日(日)までの3日間、東京ビッグサイトにおいて第37回日本診療放射線技師学術大会(37th JCRT)、第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会(23rd AACRT)、第28回東アジア学術交流大会(28th EACRT)が開催されました。

大会テーマは、『国民と共にチーム医療を推進しよう』『技術の多様性と人の調和』を掲げ、37th JCRTは、開会式・特別講演・分科会企画・ランチョンセミナー・モーニングセミナーなど、多くの企画がWeb配信され、会場に来られない方でも十分にWebサイトで学会に参加できるようになりました。またWeb口述発表では地元(施設・自宅)にいながら質疑応答が可能となりました。



第37回
日本診療放射線技師学術大会
37th Japan Conference of Radiological Technologists

第23回 アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会
(23rd AACRT)

第28回 東アジア学術交流大会 (28th EACRT)

国民と共にチーム医療を推進しよう
Let's promote team medical care with the nation

技術の多様性と人の調和
Diversity of technology and Harmony of people

■ 2021年11月12日(金) ▶ 14日(日)
■ 東京ビッグサイト

会場
上田 克彦 Katsuhiko UEDA
公益社団法人 日本診療放射線技師会

大会長
篠原 健一 Kenichi SHINOHARA
公益社団法人 日本診療放射線技師会会長

主催 公益社団法人 日本診療放射線技師会
共催 公益社団法人 東京診療放射線技師会
後援 東京学芸大学
東京都

開催事務局
公益社団法人 東京診療放射線技師会
<http://www.jart.jp>
E-mail: taikai2021@start.jp

4 第83回 公益社団法人日本診療放射線技師会 定時総会 開催される

2021年6月5日(土)午後2時より、本会事務所およびWebexを利用して第83回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会が開催されました。本総会は代議員に向けYouTubeで中継配信されました。



5 本会上田会長、厚生労働省 迫井正深医政局長を訪問する!

2021年4月13日(火)、本会上田会長は厚生労働省 迫井正深医政局長を訪問し、1) ワクチン接種について、診療放射線技師による副反応についての観察活用の要望、2) 国家試験の在り方について、3) タスク・シフト/シェアの準備状況報告について相談しました。畦元将吾衆議院議員の取り計らいもあり、多くの件について相談することができました。



6 第1回 医療放射線の適正管理に関する検討会 開催される

厚生労働省が実施する「医療放射線の適正管理に関する検討会」は2017年から2019年まで開催され、検討されてきた診療用放射線の安全管理体制について、2019年3月11日に医療法施行規則の一部を改正する省令(平成31年厚生労働省令第21号)が公布され、2020年4月1日に施行された後、一時中断していましたが、本年度より新たな構成員となり、第1回が2021年6月24日(木)、TKP新橋カンファレンスセンター(東京都千代田区)において開催されました。



7 2022年度 診療報酬改定に向けての要望書 提出される

2021年6月23日(水)、上田克彦会長、上島隆事務局長、藤井雅代理事の3人が厚生労働省保険局医療課を訪問し、井内努課長に2022年度診療報酬改定に向けての要望書を提出しました。要望書では、「診療用放射線安全管理への取り組み」の評価についての要望である「診療用放射線安全管理料1」「診療用放射線安全管理料2」の新設と、「感染防止対策への取り組み」の評価についての要望である「感染症患者撮影加算」「感染症患者放射線治療加算」の新設について説明しました。

8 第82回(臨時)総会 開催される

2021年3月14日(日)午後2時より、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のためWeb会議システムを用いて第82回(臨時)総会が開催されました。第1号議案の「令和3年度からの会費額変更(案)について」、理事会・総会・運営会議などの会場費、旅費通信交通費および事務所移転に伴う事務所費用の削減が見込めることから、1人当たり千円の会費減額が起案され、賛成174票により承認されました。

9 岸田文雄衆議院議員(現 内閣総理大臣)とのリモートヒアリング行われる

2021年9月11日(土)午後4時から4時40分まで、『岸田文雄先生が診療放射線技師の「声」を聴く』(リモートヒアリング)という企画で、畦元将吾衆議院議員のエスコートの下、岸田文雄衆議院議員(現 内閣総理大臣)との診療放射線技師に関わる政策についてのWebヒアリングが行われました。



■岸田文雄先生が診療放射線技師の「声」を聴く

<https://www.youtube.com/watch?v=uwrAcsyuLh0>



10 上田会長と日本臨床衛生検査技師会 宮島喜文会長との対談行われる

2021年8月6日(金)、本会上田会長と一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 宮島喜文会長との対談が、日本臨床衛生検査技師会事務局で行われました。宮島会長は現職の参議院議員でもあります。本対談は日本臨床衛生検査技師会会報(JAMT マガジン)への掲載希望を受けて開催が実現しました。



JART電子ブックシステムの試験運用の開始について

INFORMATION

将来的なJART会誌の電子化を見据え、電子ブックシステムの試験運用を11月7日(日)より開始しております。会員の皆さまには下記URLまたは2次元バーコードより「JART 電子ブックシステム」にログインしていただき、ログインID・パスワードを入力の上、ご覧いただけます。なお、パスワードは3カ月ごとに変更されます。今後、パスワード更新時には会誌でご案内致します。

■ログインURL : <https://www.jartbook.jp/jart/login.html>



■ログインID : jart_member
■パスワード : JARTbook202111

JART電子ブックシステムのログイン画面

「Journal of JART –English edition–」 J-STAGE掲載開始のお知らせ

INFORMATION

2015年より年1回発行しておりました「Journal of JART –English edition–」が、2021年10月1日よりJ-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)で閲覧できるようになりました。J-STAGEは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が運営する電子ジャーナルプラットフォームです。今後はJ-STAGEを利用して、掲載されました論文を会員内外に広く発信致しますので、論文検索など有効にご活用ください。

義務研修

あなたの 診療放射線技師免許 アップデート が必要です!!

新たな業務をつかみ撮れ。



© 横幕智裕・モリタイシ/集英社
「ラジエーションハウス」集英社 グランドジャンプにて連載中

医師の働き方改革を推進するため、医師から診療放射線技師への
タスク・シフティングにより診療放射線技師の業務が拡大されます。

あなたの診療放射線技師免許アップデートが必要です!!

画像検査のプロ集団として、国民のために診療放射線技師籍登録者全員が
受講しなければならない告示研修会（義務研修）が開催されます。



詳しくは JART 特設サイトへGo !

URL http://www.jart.jp/activity/kokujikousyuu_2021.html

2021年度 第3回理事会 開催される (Web併催)

2021年10月2日(土)午後2時から午後6時まで、本会事務所で2021年度第3回理事会が開催されました。今回より、Web会議システムはWebexを用いて行われました。上田会長のあいさつの後、議題審議となり、以下の(1)~(13)が挙げられました。

(1) 諸規程見直し案について (①旅費規程 ②臨床実習施設の登録に関する規程・細則 ③日本診療放射線技師学術大会運営規程) (2) 表彰規程の見直しについて (3) 除籍者未収会費回収に関する対応について (4) 2024年度JSRT合同学術大会開催(案)について (5) 全国学術大会における大会運営費500万円貸与について (6) 第38回JCRTポスターについて (7) 委員会・分科会の名称変更について (8) 令和4年度事業スケジュールについて (9) レントゲン週間助成申請について (10) 令和4年度会誌表紙デザインについて (11) 会誌目次案・Network Now台割案について (12) 入会者・退会者の承認について (13) 奨学金貸与申請について

これらについて担当理事より説明がなされ、それぞれ賛成多数で承認されました。

報告事項については、以下、(1)~(40)と多岐にわたりました。

(1) 会長・業務執行理事報告(上田会長、富田副会長、児玉副会長、江藤副会長、中村(勝)業務執行理事) (2) 会員動向報告 (3) 月次決算報告 (4) タスク・シフトの運営のための安全ガイドライン作成委員会設立について (5) 環境省事業ラジェーションカレッジ企画講師の依頼について (6) 環境省公募研究への協力 (7) 経産省と正しい放射線知識普及への協力について (8) 告示研修正式名称「令和3年厚生労働省告示第273号研修」について (9) 告示研修FAQについて (10) 哇元代議士への感謝状について (11) SMBC-FSクレジットカード払いの終了について (12) 編集委員会報告 (13) 広報委員会報告 (14) 会員情報システム委員会報告 (15) 調査委員会報告 (16) 医療被ばく安全管理委員会(医療被ばく低減施設認定更新報告) (17) 学術教育委員会報告 (18) 分科会報告 (19) レントゲン手帳運用中止について (20) 被ばく低減施設認定サーベイ活動休止案内について (21) 国際委員会報告 (22) 診療報酬政策立案委員会報告 (23) 医療安全対策委員会報告 (24) 災害対策委員会報告 (25) 入会促進委員会報告 (26) 人材育成委員会報告 (27) 臨床実習指導教育委員会(臨床実習施設登録報告) (28) 統一講習会実施運営委員会報告 (29) 業務改善推進委員会報告 (30) 医の倫理審査委員会報告 (31) 第37回日本診療放射線技師学術大会について (32) 第37回JCRT開会式(第35・36回JCRT感謝状)について (33) 75周年記念式典開催場所について (34) 外部団体への役員派遣について (35) 寄付贈呈者の報告について (36) 契約更新に伴う税理士契約会社の変更について (37) Jinjerシステムの導入について (38) 地域理事報告 (39) その他委員会報告 (40) 今後のスケジュール

上記について、それぞれ担当理事から報告がありました。今回の理事会はWeb開催であったため、毎年行われている鈴鹿医療科学大学での入魂式は、2021年11月8日(月)に延期されることとなりました。詳細は、本会誌12月号掲載の第3回理事会議事録(抄)を参照ください。

上記について、それぞれ担当理事から報告がありました。

今回の理事会はWeb開催であったため、毎年行われている鈴鹿医療科学大学での入魂式は、2021年11月8日(月)に延期されることとなりました。

詳細は、本会誌12月号掲載の第3回理事会議事録(抄)を参照ください。

第3回 JART-JSRT協力体制推進特別委員会 開催される

2021年10月15日(金)午後1時30分から午後4時まで、熊本で第3回JART-JSRT協力体制推進特別委員会が開催されました。本委員会では、第2回会議に引き続き、双方の理事会方での確認事項報告をはじめ、今後の合同開催に向けた確認事項について議論されました。

今回の委員会では、双方の理事会で合同学術大会の開催が承認されたことを受け、2024年度合同開催に向け(1)学術大会の合同開催についての確認事項と提案(2)合同開催の

形式(3)財務について(4)合同開催の継続について——などが検討されました。

次回委員会は2021年11月16日(火)を予定しています。

委員会のメンバーは以下の通り(敬称略 順不同)。

JART: ○富田 児玉 中村 西川 松田

JSRT: ○市田 根岸 錦 岩永 野水

2020年度 永年勤続表彰者

2020年度の永年勤続表彰者が発表されました。
おめでとうございます。

50年勤続表彰

北海道 松平 峰雄 坂森 勉	吉田 豊 富塚 光夫	路野 俊雄	神奈川県 坂野 建治	滋賀県 小菅 正一	兵庫県 竹中 修明 中島 義敏 池垣 博巳	高橋 伸一 寒竹 誠義 齊藤 義美
岩手県 小川 哲男	新潟県 土橋 幸夫 本間 敏弘	東京都 鍋倉 良三 泉田 和吉 村上 年憲 酒井 昭夫 菅野 建弘 田中 光治 森 俊	長野県 赤堀 正和	京都府 西谷 源展	広島県 山根 由美子	長崎県 一瀬 弘之
秋田県 西村 一雄	茨城県 大沼 隆夫		静岡県 武井 正雄	奈良県 瀨田 洋敏		
福島県 斎藤 康雄	千葉県 飯嶋 嘉孝		三重県 葛原 三千克	和歌山県 舟底 敬修	福岡県 吉永 隆治 吉本 輝敏	

計 38人

30年勤続表彰

北海道 森山 兼司 木下 淳 吉田 顕文 高島 典子 福島 理夫 青木 裕幸 城間 幸久 押野 稔久 上田 晃	山形県 川村 祐規 今野 雅彦 松田 善和 船山 日出夫 佐藤 濱誠 菅原 由佳 大泉 聡	谷三 津村 将之 沼尻 竹彦 相場 俊夫 島田 裕玲 大山 雅彦 鶴岡 高彦 石森 佳幸	東京都 濱野 浩二 高瀬 正行 小林 理香 岩井 譜憲 石丸 幸喜 原野 浩哲 秋室 井健 熊鈴 木真 鈴木 村知 中坂 野修 高野 正明 千葉 光子 塚藤 淳	長野県 堀内 由仁 北澤 敦志 白川 努文 重野 利一 佐藤 浩士 田口 智香子 中山 香子	青島 満 鈴木 紀明 島木 晶子	三重県 井後 新衛 大友 秀夫 鈴木 昌枝 小森 林篤 山本 憲一 堀田 正弘
青森県 坂本 幸夫人 長内 直人	福島県 村上 幸 遠山 和信 阿部 基智 森下 克彦	群馬県 上原 眞澄 櫻井 厚保 佐々木 昇幸 中村 博美	埼玉県 土谷 弘光 山口 明晶 寺澤 和彦 近藤 幸孝 丸元 中宏 萩田 進一 渡部 野雅 平原 林敏 小持 田雅 渡邊 功大 草間 勇一	石川県 川渕 安寿 米沢 芳美 石黒 充清 井戸 浄	愛知県 大森 水裕 竹田 晃子 岩月 孝与 石川 正道 吉黒 貴司 荒武 利男 滝本 克己 加藤 弘之 平野 智光 安井 寿洋 川口 孝洋 永谷 川直 樋口 陽介 中川 宏征 田中 隆代 伊藤 光雄 松田 泰伸 金井 康正 玉井 焯司 江安 藤正	滋賀県 宮川 孝史 中西 明男 南一 也満 馬場 美貴 齊藤 部滋 宮澤 安
岩手県 齋藤 浩二 及川 和哉 道又 聡建 佐々木 敏秋 佐々木 敏秋	新潟県 田村 博文 内田 尚人 茂原 江之 五十嵐 廣彦 堀藤 智幸		神奈川県 能登 宏司 井手 紳介 佐藤 公彦 中島 正俊 本藤 秀徳 武五十嵐 明子 渡邊 春美	富山県 原田 裕生 村椿 和夫 瀬川 敬成 石浦 幸進 五十嵐 和彦 永田 浩	福井県 牧野 良孝 高橋 徹仁 見附 宏之 木谷 博彦 角田 常治 奥本 康宏	京都府 中澤 修弘 川北 欣子 遠山 景公 岡本 元繁 菊元 力也 尾井 明彦 宮崎 和幸 岩崎 本光 坂下 博昭 山添 三知生
宮城県 松田 満和 菊地 秀清 半田 良二 板垣 崇泰 小原 克茂 佐藤 良紀 晴山 裕子 齋藤 志賀 長谷川 美奈 永田 一隆 三浦 文正 木村 文正	栃木県 園部 豊一 浅野 浩一 笹沼 幸則 島田 智彰 高橋 宣恭 小西 真宗 小林 和一 山越 一統	千葉県 川原 昭 今井 博久 岩崎 泰章 多金子 晋幸 宮内 三幸	山梨県 中宮 良治 中村 公勝 保坂 大日方 勝伸	静岡県 鈴木 康之 鈴木 千晶 杉山 和彦 伊藤 定孝 佐野 弘行	岐阜県 糟谷 幸徳 森下 俊典 吉堀 成和 町野 威彦 安部 正治 川島 祥資	奈良県 寺口 昌和 中盛 久満 高田 亮志 永田 諭志

- 和歌山県
 - 太田 丈士
 - 矢口 啓司
 - 熊山 義孝
 - 嵯峨根 正伸
 - 黒川 茂生
 - 大阪府
 - 小西 康彦
 - 村上 昌也
 - 小上 敦司
 - 足立 憲司
 - 兵庫県
 - 吉住 哲彦
 - 杉浦 一弘
 - 上岡 桂子
 - 河野 昭博
 - 内村 俊二
 - 松井 寛英
 - 岡山県
 - 杉原 広志
 - 藤波 洋治
 - 難波 西二
 - 佐々木 浩一
 - 大角 真弘
 - 田淵 真忍
 - 広島県
 - 茶谷 孝久
 - 中村 哲之
 - 紀田 明久
 - 田中 久善
 - 牧直 直子
 - 鳥取県
 - 宇山 浩文
 - 津川 浩正
 - 杉本 紀章
 - 島根県
 - 中村 晃司
 - 加藤 秀之
 - 山田 和幸
 - 原真 真司
 - 香川県
 - 井原 正治
 - 鳥越 秀尚
 - 仙田 誠樹
 - 濱口 卓美
 - 川村 田毅
 - 麻谷 朋美
 - 愛媛県
 - 山田 裕司
 - 檜垣 徹美
 - 林戸 泰治
 - 高知県
 - 久保 克泰
 - 野村 忠弘
 - 福岡県
 - 浅野 玲子
 - 村上 誠一
 - 大鶴 要介
 - 上野 春樹
 - 吉川 英樹
 - 渡邊 さつき
 - 前田 利宏
 - 井長 田洋
 - 宮原 信一郎
 - 中小川 隆浩
 - 永島 正幸
 - 渡辺 秀一
 - 塩川 根勝
 - 早立 石田
 - 山根 秀美
 - 立瀬 足勝
 - 月岩 崎安
 - 佐賀県
 - 本松 克彦
 - 佐藤 弘史
 - 長崎県
 - 岩田 秀幸
 - 一ノ瀬 康宏
 - 植木 茂二
 - 江崎 浩二
 - 宮崎県
 - 貫野 裕行
 - 中野 村光
 - 中谷 健一
 - 池村 健一
 - 鹿児島県
 - 前田 哲也
 - 内田 一正
 - 隈元 忍満
 - 橋口 正明
 - 富松 新一
 - 山田 隆勝
 - 園田 平勝
 - 沖縄県
 - 光比 浩二
 - 比嘉 博史
 - 上地 雅之
 - 川満 勝悟
 - 石原 盛寛
 - 大城 盛寛
- 計 386人

社会活動表彰 (江間賞) ならびに学術奨励賞受賞者

本会表彰規程より、江間賞は、前年度の社会活動カウントの上位取得者で社会活動の内容などが優れている者とし、地域性を考慮して特に優れている者10人以内に授与されることになっています。

また学術奨励賞は、積極的な自己研鑽けんさんにより診療放射線技師としての資質向上に努め、医療および公衆衛生の普及および向上に貢献した者に授与されることになっています。対象者は表彰を受ける前年度の本会生涯教育カウントの取得上位者となっています。

本年度の受賞者は、表彰委員会が7月10日(土)開催の第2回理事会に答申し、決定されました。

受賞者は下記の通り。おめでとうございます。

なお、本会表彰規程により、授賞式は日本診療放射線技師学術大会において執り行われました。

江間賞		学術奨励賞	
(北海道)	村上 佳宏	(愛知県)	二村 彰一
(秋田県)	田村 博文	(京都府)	三森 隼人
(栃木県)	杉岡 芳明	(長野県)	伊藤 翼
(神奈川県)	濱田 順爾	(広島県)	石田 健一
(富山県)	西野 誠	(東京都)	齊藤 優樹
(三重県)	浮田 和幸	(北海道)	小林 聖子
(大阪府)	藤田 秀樹	(福岡県)	亀屋 圭
(広島県)	小村 哲也	(島根県)	田代 真人
(山口県)	齋藤 右司	(東京都)	岩本 達志
(鹿児島県)	島兒 末治	(北海道)	山下 耕司



江間賞受賞者の方々



学術奨励賞受賞者の方々

(順不同)

第4回 STAT画像報告分科会 (旧読影の補助分科会) Master's eye seminar 開催される (Web開催)

2021年10月21日(木)、STAT画像報告分科会(旧読影の補助分科会)より、全国の会員に向けてWebによる第4回 Master's eye seminarが、講師に東京医科大学病院の吉田和則氏を招き、「実臨床に役立つ胸部画像の見方、考え方④ “線状影・網状影/空洞性陰影”」をテーマに開催されました。

主な内容は、前半は、新型コロナウイルス感染症による肺

炎像に関する好発部位、感染の機序、重症化に伴う画像所見の成り立ちに加え、腹臥位換気法と低換気療法の治療方法について解説がなされました。後半は、胸部における線状影と網状影を呈する疾患の画像を観察する場合、顕在化するさまざまな間質の変化を理解することの大切さについて解説がなされました。

2021年秋の叙勲受章者 —おめでとうございます—



旭日双光章 藤田 仁 (岡山県)

瑞宝双光章 伊藤 俊一 (埼玉県)

佐藤 豊 (鳥取県)

坂野 和徳 (愛知県)

山本 英明 (埼玉県)

瑞宝単光章 赤間 満博 (神奈川県)

今泉 信七 (愛知県)

佐野 芳知 (山梨県)

藤田 日出男 (埼玉県)

和田 健 (静岡県)

安部 真 (神奈川県)

金友 高史 (宮城県)

白鳥 久也 (宮城県)

藤本 博之 (徳島県)

須崎 勝正 (青森県)

工藤 晃 (青森県)

瀬尾 智津子 (徳島県)

山本 邦喜 (香川県)

廣瀬 保次郎 (愛知県)

(敬称略・順不同)

INFORMATION

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

共 創

昨今、共創という言葉をよく耳にする。大学にも共創学部が設置されるが、果たして、この共創とは何だろうか？ 共創とは「異なる立場や業種の人・団体が協力して、新たな商品・サービスや価値観などを作り出すこと (Co-creation)」とある。

診療放射線技師にとって、日本診療放射線技師会と日本放射線技術学会は車の両輪のように、なくてはならない組織であり、新しくJ-J協体制推進特別委員会が発足し、将来に向けた取り組みが検討されている。その第一歩が互いの学術大会での合

シリーズ・連載
series serialization



五 感 — five senses

同シンポジウム「生殖腺(性腺)防護について考える」の開催で、第49回日本放射線技術学会秋季学術大会と第37回日本診療放射線技師学術大会で行われた。このテーマは国際的に生殖腺防護中止の動きの中、本邦での対応を考える上で重要な内容で、この両団体の協力が不可欠な問題であり、互いに協力し合っしかて然るべき方向性を導き出すことに意義があると考え。まさにこの共創にふさわしい内容ではないだろうか。

(文責：中村泰彦)

令和3(2021)年度 基礎技術講習「MRI検査」 開催報告

一般社団法人栃木県診療放射線技師会
教育委員 佐藤 宏

2021年10月3日(日)、栃木県総合文化センターで基礎技術講習「MRI検査」を開催しました。日々の診療において必要な基礎知識・技術の再認識とさらなるレベルアップを目的として、MRI検査に携わる方はもちろん、未経験の方を対象に募集し、最終的に45人の参加となりました。募集開始後、数時間で50人の定員が埋まり、遠くは鹿児島県からの申し込みがあり、当日の会場の熱気も含め、本講習会への関心の高さを肌で感じることが

できました。

MRI装置、基礎原理、パルスシーケンスと画像コントラスト、アーチファクト・脂肪抑制・造影剤、画像評価・性能評価、安全管理と、MRI検査一連を学ぶことができました。また講師についても、臨床の最前線で働く方を選任させていただいたので、教科書的な項目に加え、臨床画像を交えた臨場感のある内容でした。

コロナ禍の企画であり、開催日は緊急事態宣言解除後でしたが、講師・受講生・JART事務局・本県開催スタッフが丸となって感染対策を施し、無事に開催できたことに感謝致します。しかし、講師および受講生の中には、残念ながら会場に足を運べなかった方もおられ、別の機会を通じて、お互いに研鑽を高めていきたいと思っております。



INFORMATION

第1回 第38回日本診療放射線技師学会に向けて

兵庫への道(神戸から全国へ)

~BE KOBE~

公益社団法人兵庫県放射線技師会

会長 後藤 吉弘

第37回日本診療放射線技師学会大会が東京で行われ、盛会に終了しましたこと、心より御礼申し上げます。

次回、第38回の開催県であります兵庫県がその後を引き継ぎ、大会テーマに「タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう」とともに『革新への挑戦』を掲げ、準備を進めていることをお伝え致します。

- 開催日：2022年9月16日(金)・17日(土)・18日(日)
- 場 所：神戸コンベンションセンター
(神戸国際会議場・神戸国際展示場・神戸ポートピアホテル)
- 開催方法：会場とWebとのハイブリッド開催

神戸は開かれた街で、今までさまざまな流行や文化を生み出し、次々と発信してきました。地形的には六甲山と瀬戸内海に挟まれた、とてもおしゃれで魅力ある街であります。2017年には開港150年を迎えました。何より学会会場は交通の便が良く、遠方からいろいろな手段で来る事ができる魅力の地であります。

- 交通手段：【新幹線】 新神戸駅 (20分)
- 【飛行機】 神戸空港 (5分) 大阪国際空港(伊丹空港) (50分) 関西国際空港 (高速船で35分)
- 【フェリー】 神戸三宮フェリーターミナル (20分) 神戸六甲フェリーターミナル (40分)
- 【自動車】 多くの駐車場あり

これから来年の学会大会に向けて兵庫の魅力を連載致しますが、会場とWebとのハイブリッド開催で魅力ある大会にしていまいますので、ぜひご参加ください。心よりお待ちしております。



学会大会ポスター



診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、県技師会までお問い合わせください。

- フレッシューズセミナー開催予定： 岩手 12月5日(日) Web開催

INFORMATION

12月・1月の講習会などスケジュールのご案内

- 告示研修（基礎研修）： Web開催 7月31日(土)から【e-ラーニング形式】
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 告示研修（実技研修）： 富山 12月19日(日)【会場型】
※研修会正式名称：令和3年厚生労働省告示第273号研修（告示研修）
- 第37回日本診療放射線技師学術大会 オンデマンド配信：
Web開催 11月24日(水)から12月15日(水)まで
大会ホームページ（<http://web.apollon.nta.co.jp/37jcrt/>）より閲覧可能。
※閲覧にはID/PWが必要です。
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修：
Web開催 12月26日(日)締め切り
※お申し込み成立の日から2022年1月30日(日)まで何度でも視聴いただけます。
- 放射線機器管理地域研修会： 静岡 12月26日(日)
- 骨関節撮影分科会Webセミナー： Web開催 1月27日(木)
- 放射線被ばく相談員講習会： Web開催 1月29日(土)

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催中止または開催方法が変更になる場合があります。

INFORMATION

ホームページ閲覧のお願い

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/2021_schedule.html
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000007170.html

INFORMATION

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。